

視察研修報告書

小山和也

日時 令和7年11月18日

時刻 午前10時～11時30分

場所 衆議院議員第二会館会議室

研修目的 少子高齢化が急速に進む中社会保障制度の現況を把握し

八女市の福祉施策に活かす方法

対応説明者 厚生労働省政策統括官付政策統括室政策第一般

白崎 仁氏

研修内容

- ・厚生労働省より日本の社会保障政策の説明を受けた
- ・急速な人口構造の変化
- ・医療、介護、年金財政の持続性確保
- ・地域包括ケアシステムの進化
- ・子育て支援策の強化
- ・少子化対策を社会全体で支える（子供まんなか社会）への転換

等

感想（主観）

八女市に於いての今後の方向性としては妊娠、出産、子育ての段階での支援等を市民に分かりやすく提示・広報していかなければならないと感じた。

地域包括ケアの部分では地域の六つの支援体制が必要である。

日時 令和7年11月18日

時刻 13時～14時30分

場所 衆議院議員第二会館会議室

研修目的 過疎地域における持続的発展の取り組みについて

対応説明者 総務省地域創造グループ過疎対策室企画係長

内山 弾氏

研修内容

- ・ 過疎法に基づく財政措置
- ・ 地域公共交通の維持、デマンド型交通導入の支援
- ・ 地域運営組織による生活サービスや地域資源管理
- ・ 移住定住支援の強化
- ・ 小さな拠点づくりを軸とした地域機能の集約
- ・ 農林業の振興と地域ブランド化等

感想（主観）

八女市に置き換えても過疎地域の課題は人口減少だけでなく交通の不便や住宅確保などのさまざまな問題が考えられる。

過疎債もこのような問題に順じて過疎地域からの声を重視しながら活用して行く必要があると考える。

空き家バンクの改修や支援なども過疎債で充当できるものはおい
に活用すべきであるとする。

日時 令和7年11月19日

時刻 9時～12時

場所 和歌山県東京観光センター千代田区有楽町東京会館地下1階

研修目的 全国の自治体が首都圏に設置している観光情報拠点を視察し亀氏と置き換えて考察して行く事

感想（主観）

この拠点は物販は全くされていなかった。パンフレットや冊子などを市町村ごとに並べられその地域の特色や名産などを大きく広報されていた事が印象的であった。八女市の情報拠点も物販だけでなく各市町村の特有性をアピールして行く事が必要であると感じた。ここに来れば八女市のどの市町村のこともすべて分かるそういったアンテナショップを構築していかなければならないと感じた。